

「新・やまがた農業人」紹介



鹿野絵美子 さん 河北町で就農

【出身地】岩手県盛岡市

【就農前の職業】会社員

【就農年度】平成17年度(平成16年度、1年間研修後独立)

【経営概要】桜桃 45a、枝豆 100a、大豆 160a

露地野菜 20a

山形県での就農の動機や考え方

普通のオフィスで働くOLでしたが、産直フルーツや食べ歩き好きが高じて、「食」に関わる仕事に転職したいと考えるようになりました。そして、「食」の原点である農業から始めてみようと思いました。山形はサクランボを代表として美味しい果樹やお米、野菜の宝庫です。大学時代に過ごし慣れ親しんだ山形で農業研修を受けたいと思い、全国新規就農相談センターに相談して、1年間の研修を経て現在に至ります。

まず農業に興味を持ったら、頭でいろいろ考えるよりも、農業体験プログラムに参加し経験するのが近道だと思います。農作業や農村風景は、季節によって目まぐるしく変わります。時間が取れるときに、何回でもいろいろな季節に参加したほうが参考になると思います。

自分が農業をするイメージができれば、とにかく相談することです。そんなに具体的に決まっていなくても、新規就農を農業支援センターに話してみることが第一歩です。就農までどのような準備が必要か、技術研修や農地、お金のことはどこに相談すればよいか等、親身に相談に乗りアドバイスしていただけます。

就農すると小規模な農業経営でも、地域の人々や行政とは付き合っていく必要があります。初めは慣れない方言や、農業用語、地域の風習などで戸惑うことも多いと思いますが、徐々に馴染んでいけるものです。そのためには、内にこもらないで、何でも聞くことや相談する姿勢が大事だと思います。一歩ずつ前に進んで行きましょう。